

■12月は疾病予防と治療月間です。

誰にとっても「健康であること」は何より大切。でも、基本医療を受けられない人は世界で4億人と言われています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあると、私たちは信じています。

世界で数百万人が病気によって苦しみ、貧困を強いられています。私たちが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、このためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センター、研修施設をつくったり、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計するなど、世界中のロータリー会員は、人びとがより良い医療を利用できるよう支援しています。

マラリア、HIV/エイズ、アルツハイマー、多発性硬化症、糖尿病、ポリオなど、人びとを苦しめる病気の予防・治療や患者の支援に当たっている会員も大勢います。衛生教育のほか、無料の定期健康診断や眼科・歯科検診も行っています。

ロータリーはこんな活動をしています

病気は何もせずに予防できるものではありません。命にかかわる病気の蔓延を食い止め、予防を徹底させるために、私たちロータリー会員は、医療従事者への研修、病気や衛生習慣に関する市民への指導など、世界で毎日、数百ものプロジェクトを実施しています。

疾病との闘いにおける成果

ロータリー財団は、

世界各地のプロジェクトや活動に補助金を提供しながら、疾病の予防と治療に力を注いでいます。ロータリーによる活動の例：

きれいな水の提供。 ガーナでは、他団体と協力して国内全人口の80%以上にきれいな水を提供し、ギニア虫感染症を予防しています。

HIV感染の減少。 リベリアでは、妊娠初期の女性たちへのHIV検査を支援しています。2年間でHIVの母子感染を95%減らすことをめざして、出産前ケアを推進しています。

ポリオの撲滅。 私たちは、**ポリオ(小児まひ)を世界から撲滅する活動**で、大きな役割を果たしてきました。懸命な活動により、世界のほぼすべての国からポリオがなくなっただけでなく、エボラ出血熱などのほかの疾病の追跡システムにも活用できるインフラが構築されました。ポリオ撲滅の実現まであと少しです。

予防と治療のためにこれまでロータリーが授与した補助金 **6,500万ドル**

1985年にロータリーがポリオ撲滅活動を立ち上げて以来の発症数の減少率 **99.9%**

週

報

インスピレーションに なろう

Be the inspiration

バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリー会長



平成30年
12月4日
2018年
DEC

第2706号

第2830回例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	81名
出 席 計 算 会 員	81名
出 席	32名
欠 席	49名
出 席 率	39.51%
訂 正 出 席 率	60.49%

欠席会員名 新垣(典)、安里(政)、上原、中村、碓井、東川平(靖)、吉村、新垣(豊)、長山、与儀、平良(修)、新里、杉本、三反園、保田盛、喜屋武、許田、國吉、伊志嶺、具志堅、今福、渡辺、下石、新垣(安)、朱、宜保、吉岡、井手上、白石、北田、上原(進)、与那覇、上原(修)、真栄城、新垣(竜)、安里(繁)、長嶺(国)、眞榮平、東川平(信)、前原、赤嶺、本多、桑野、石垣、下地、川畑、佐久本、相良、義元。

MAKE-UP

新本、新垣(典)、安里(政)、名嘉、戸田、山城、松島<ロータリー研修会/懇親会>鈴木<山形東>安里(政)<(在京)地区拡大増強委員会>

ビジター 長井 敏彦 氏(芦屋)

ゲストスピーカー

羽田 晶年 氏
(株)日本M&Aセンター 沖縄営業所長
ゲスト 阪本 和司 氏・砂川 満邦 氏(長嶺 善憲 会員
ご紹介-入会予定者)

☆プログラム

12月11日(火)

「倒産の危機から年商5億円へ!

町のお弁当屋を改革! 商売から経営へ!

(株)上間フードアンドライフ

代表取締役社長 上間 喜壽 氏

12月18日(火) 18:00 点鐘「夜間例会家族会」

於: ホテルパームロイヤル NAHA

レストラン「イルフィオーレ」

那覇市牧志3丁目-9-10 TEL 865-5560

休会 12月25日(火)・2019年1月1日(火)

■60周年実行委員会 12/11(火) 13:30~

パシフィックホテル沖縄2階「マカハ」

★国際大会(ドイツ・ハンブルグ) 早期登録は

My Rotary より12/15(土)までに。

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1 (パシフィックホテル沖縄1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス naha-rc@m1.cosmos.ne.jp HP アドレス: <http://naha-rc.org/>

会長 山城 博美 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 上原義信 副会長/クラブカウンセラー 亀川 榮一

幹事 松島 寛和 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 井手上 功 委員 今福 吉和

■ニコニコBOX(*^^)

長井 敏彦 氏 (芦屋 RC)

本日は宜しく御願ひ致します。ニコニコ。

山城 博美 会長

12月に入りました。今月も明るく元気にクラブを楽しみましょう。ニコニコ。

戸田 澄之 会員

12/2 (土) 那覇市楚辺(裁判所通り)に、ハーモニー薬局城岳店を開局出来ました。地域医療に貢献出来る様に頑張つてゆきます。ニコニコ。

藤井 幸 会員

那覇マラソン完走しました。たくさんのロータリアンの皆様のおかげで自己ベスト更新!

ニコニコ。

米須 義明 会員 (会員増強委員長)

義元会員、入会おめでとうございます。ニコニコ。

■幹事報告

松島 寛和 幹事

*他クラブ例会休会・変更はスペースの都合で来週掲載と致します。事務局までお問合せ下さい。

*地区大会の参加申し込みは12/13(木)まで。

クラブ事務局まで申し込み下さい。

*下期会費請求書をお送り致しました。期日までに納入下さいますようお願い致します。

■🎁12月の誕生祝い🎁 おめでとうございます

2日 許田 洋 (きよだ ひろし) 会員

11日 亀川 偉作 (かめかわ いさく) 会員

14日 杉本 健次 (すぎもと けんじ) 会員

17日 上原 義信 (うえはら よしのぶ) 会員

20日 菊永 栄一郎 (きくなが えいいちろう) 会員

■年末年始のクラブ事務局のお休みについて

ガバナー事務所と同じく2018年12月28日(金)~2019年1月4日(金)までお休みさせていただきます。皆様どうぞよいお年をお迎え下さい。

緊急連絡先: 松島幹事 090-1346-3352

12月のRIレートは1ドル→112円です。

■特別会計 2018~2019年度 ニコニコBOX

本日のニコニコBOX	¥9,000
ニコニコBOX 累計	¥246,000

■会長報告

山城 博美 会長

*先週はガバナー公式訪問お疲れさまでした。クラブの問題点、改善点につきましては今後いろいろな取り組みを皆さんと一緒に考えてゆきたいと思ひます。また創立60周年記念式典に向けてさらに力を合わせて行きましよう。

*12月は「疾病予防と治療月間」です。

疾病予防と治療月間 (Disease Prevention and Treatment Month) 「2014年10月RI理事会は、12月を重点分野:「疾病予防と治療月間」とし、地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止め、非伝染病とそれによる合併症を減らすための疾病予防プログラム、地域社会の医療インフラの改善、疾病の蔓延を防止することを目的とした地域住民への教育と地域動員、疾病またはケガによって引き起こされる身体障害の予防、疾病予防と治療に関連した仕事に従事する事を目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間とした。」

*それでは、ただ今から当クラブ細則に基づき、年次総会にきりかえて次年度の理事役員の選挙を行います。会員総数81名の3分の1の27名が定足数で、本日の出席会員が32名です。まず、A欄は、クラブ細則第1条第1節によりまして11月28日11時30分より指名委員会を開催し、指名候補者名を記入してございます。その方々に賛成であれば○印を反対の場合は×印をしてB欄にお名前をご記入下さい。尚、クラブカウンセラーと会長エレクトは決まっております。念のため申し添えます。

***2019-20年度 理事役員 決定**

投票の結果、次年度理事役員が指名委員会の原案通り決定されました。会長 上原 義信 直前会長 山城 博美 会長エレクト 當間 卓 理事役員は/安里政晃/亀川偉作/梶原浩美/木全志朗/金城智誉/宮城和博/鈴木康友/戸田澄之(アルファベット順/敬称略) 尚、担当につきましては今月中に次年度理事会を開催し決定致します。

■第18回例会 卓話 「FC琉球J3優勝の軌跡」

琉球フットボールクラブ(株) 経営企画室長 高津 友彦 会員



お子様を連れて
サッカー観戦に!
と高津会員

FC琉球J2へ 環境整備が奏功

11月3日にFC琉球はJ3で優勝した。創設から15年かかった。サッカー環境整備や競技力向上、たくさんの方が時間もお金も労力もかけてきたことが奏功した。J1を頂点にJ2、J3までがいわゆるJリーグと呼ばれる。J1は18、J2は21チームだ。Jリーグチームになりたいとお金を用意してもすぐにはなれない。必ず、どのチームも都道府県リーグの3部からスタート。年に一つしか上がれない。その次に地域リーグがある。数千のチームが国内に存在するが、勝ち上がり、日本フットボール協会(JFL)に加盟しないと行けない。お金と時間をかけないと所属できない。Jリーグ加盟には高い壁がある中、FC琉球がJ2以上の39チーム入りしたことになる。創設は2003年。初年度の沖縄県リーグは圧倒的に強かったので3部で優勝し1部に飛び級した。九州リーグも1年で優勝できたので、JFLに加盟することができた。北谷のスタジアムが満員になるなど沖縄のサッカー界は盛り上がっていた。Jリーグ入りが近いという機運があった。2006年のJ3参戦から、17チーム中15~16位がしばらく続く。2010年に私が入ったが、まだ弱かった。最高でも9位、10位だった。お客さんにも「弱い」「面白くない」と言われた。J2昇格は、二人のGMの存在感が大きかった。一人は田辺和良さんだ。その後、2016年度からの李済華だ。田辺さんは環境面、李さんは競技力向上に尽くした。創設時には、土のグラウンドが多くて良くなかった練習環境の底上げや、16万4千人の署名を集めて県総合公園のスタジアムの改修を求め、

県内に緑の芝のグラウンドが増えていった。沖縄市がホームタウンになり、沖縄県も趣旨を理解いただいた。それでもJリーグに加盟申請は認められず13年に会社体制を整えよと強く求められ琉球フットボールクラブ株式会社になり、県や各企業にご出資いただいて、13年にやっとJリーグの加盟条件が整った。あとはチームが勝つだけという環境が15年にできた。J3で下位に甘んじ、なかなかホームで勝てない。当時、監督が「もっと選手を大事にしてほしい」と言っていた。

安くて、うまくて、無名の選手

16年にチームを再構築した。「安くて、うまくて、無名の選手」を取ろうと。李GMが残した選手は8人だけだった。今は25人の選手の大半が大卒でチーム入りし、チームのベースは3年前からできてきた。FC琉球には普及、育成、強化のピラミッドがあるが、改李GMが改善に取り組み、しっかりした一体感あるチーム体制が整いつつある。今のクラブを支えているのは競技力だ。低予算の中で、勝利を収められたのはチーム全体の頑張りと思う。3年間の監督、選手、コーチの奮闘に目を見張る。GMと監督の「琉球と言えば、攻撃サッカー」をつくりたいという思いが結実した。選手はあまり大きくない。小さくても俊敏で勝てるサッカー、沖縄に特化したスタイルを監督、GMがサッカー環境を分析してつくり上げた。J2での戦いでも驚かせたい思いがある。チームの財力は、下から3番目だ。せめて、中盤に位置したい。7億ぐらいの予算規模を積み上げたい。下部組織から選手をどう育成するかが課題となっている。J2の未知の世界が待っている。お願いしたいのは、皆さまの社員がお子さんを連れて試合を見に来ていただくこと。これからも応援をお願いします。文責: 会報委員長 松元 剛